

使用上のご注意

- パッキンやエア弁、フタは必ずつけた状態でご使用ください。
- 各容器のフタは確実に閉めてご使用ください。
- 保温ケースの留め具は無理に折り曲げたり、折じたりたんだりしないでください。破損の原因となります。
- おかず容器は汁もれしにくい構造ですが、閉め方が弱かったり、汁気の多い食品を入れた場合、汁もれすることがありますので容器を横倒しにしないでください。
- 持ち運ぶ場合は、おかず容器のフタが上になるように保温ケースに入れて、縦置きにしてください。
- パソコン、デジタルカメラ等の精密機器と一緒に持ち運ぶのはおやめください。
- 次の物は絶対に入れないでください。
 - 生もの(加熱していない肉、魚介類、乳製品、卵)など腐敗しやすいもの
- 直射日光、高温多湿な場所に置くと内容物が腐敗の原因となりますので、ご注意ください。また、外気温が低い場所では保温効力が低下します。
- 保温ケースに直接食品を入れしないでください。
- 保温ケースは電子レンジに入れしないでください。
- ごはんやおかず類はできるだけ早く(約6時間以内)お召し上がりください。成分の腐敗や変質の原因となります。
- 落としたり、ぶつけるなど強い衝撃を与えないでください。破損やさび、保温性低下の原因となります。
- 色素の濃いものやお酒の強いおかず類はアルミホイル等に包んで入れてください。直接入れるとにおいが容器に移ったり、変色することがあります。
- 冷凍庫に入れしないでください。
- 軟化・変形することがありますので、高温になる場所や直射日光のあたる場所、火や熱源のそばに置かないでください。
- 保温効力が下がったものは使用を中止してください。
- 乳幼児やペットの手の届かないところで使用・保管してください。
- 本来の用途以外でのご使用はおやめください。

品質表示

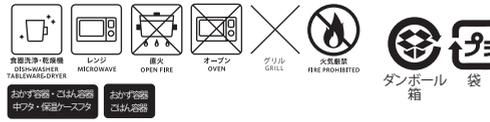
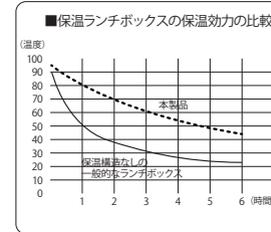
部品名	材質	耐熱温度	耐冷温度
保温ケース	ステンレス鋼 (アクリル樹脂塗装)	—	—
保温ケースフタ	ポリプロピレン	100℃	-20℃
留め具・リング	ポリプロピレン	110℃	-20℃
おかず容器 ごはん容器 中フタ・弁本体	ポリプロピレン	140℃	-20℃
パッキン・エア弁	シリコーンゴム	180℃	-40℃

サイズ:約高さ(H)12.2×幅(W)12.8×奥行(D)12cm
容量:0.5L(ごはん容器:0.25L おかず容器:0.25L)

保温効力:42℃以上(6時間)

※保温効力とは、室温20℃において、保温ケースにセットしたごはん容器に熱湯を0.25Lまで満たし、空のおかず容器を載せ、保温ケースフタをした状態で湯温が95℃になった時から、6時間放置した場合におけるその湯の温度です。

ご使用においてはごはんの量やおかずの量、温度、外気温の影響により、上記の保温効力の数値とは異なります。



株式会社パル
東京都渋谷区神宮前
6-12-22
MADE IN CHINA

保温ランチボックス 取扱説明書

【取扱い上のご注意】

- 正しくご使用いただくため、注意事項を必ずお読みください。なお、お読みになった後は、必ず保管してください。



ご使用方法

ご使用になる前に

傷へこみ・ひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
底面のシールは、はがさないでください。不良の原因となります。

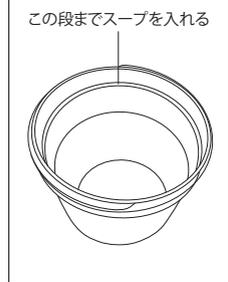
初めて使用する際は、【お手入れ方法とご注意】をご確認の上、各容器を食器用中性洗剤で洗浄してからご使用ください。

- 留め具を外して、おかず容器・ごはん容器を取り出してください。おかず容器の中フタを時計回りに回して外します。
- 保温効果を高めるため、保温ケースとごはん容器に熱湯を少量入れ、1～2分温めます。予熱後はお湯を捨て、水分を十分に拭き取ってください。
- おかず容器に温かいおかずを入れ、中フタをしっかり閉めてください。
※おかず容器も保温されます。冷やして召し上がる食品はしっかりと入れないでください。
- ごはん容器の内側の線まで、炊き立てまたは電子レンジで温めた熱いごはんを入れてください。
※少量だと保温効果下がります。
※ごはんの入れすぎにはご注意ください。フタが確実に閉まらない場合があります。
- おかず容器の中フタを時計回りに回して取り付けてください。保温ケースにごはん容器→おかず容器の順に入れます。
※ごはんの上におかず容器が直接触れるため、おかず容器底面の水気や汚れを拭き取ってください。
- 保温ケースフタの左右の留め具がカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。

■スープ容器としての使い方

スープ容器としてご使用になる場合、おかず容器は取り外してご使用ください。

- 【ご使用方法】1～2をご参照の上、ごはん容器を温めてください。
- ごはん容器に図の位置まで、出来立てまたは電子レンジで温めた熱いスープを入れてください。
※少量だと保温効果下がります。
※スープの入れすぎにはご注意ください。
- スープを入れたごはん容器に中フタを時計回りに回して取り付けてください。
- 保温ケースフタの左右の留め具がカチッと音がするまでしっかりと閉めてください。
※熱いスープを入れた場合は、やけどに十分ご注意ください。
※お召し上がりになる際は、ごはん容器を傾けながらゆっくり飲みます。またはスプーンなどですくいながらお召し上がりください。



ごはん容器・おかず容器の電子レンジのご使用について

- ごはん容器・おかず容器は保温ケースから取り出して電子レンジで加熱してください。
- 中フタ・保温ケースフタ・保温ケースは電子レンジでは使用できません。
- 電子レンジの自動モードは使用しないでください。
- 食品の量が少ない場合や、水分の少ない食品は加熱時間を短くしてください。
- 油分の多い食品の加熱は避けてください。
- 使用する電子レンジの取扱説明書を十分にご確認の上、ご使用ください。
- 空だきはおやめください。破損や火災の原因となります。

お手入れ方法とご注意

ごはん容器 おかず容器 中フタ	<ul style="list-style-type: none"> ●食器洗浄・乾燥機で洗浄できます。●手洗いの場合、食器用中性洗剤で洗浄し、よくすすいだ後、水気を拭き取って十分に乾かしてください。 ●洗浄の際、研磨剤入りのスポンジ、金属たわし、クレンザー等は使用しないでください。表面を傷つけ本品が破損する恐れがあります。 ●汚れのひどいとき、においを取りたいときは漂白剤を薄めたお湯に浸してください。 ●パッキンが汚れていると漏れの原因となりますので、時々パッキンを取り外して、洗浄してください。取り外したパッキンは、ご使用前に必ず元の位置に取り付けてください。
保温ケース フタ	<ul style="list-style-type: none"> ●食器洗浄・乾燥機で洗浄できます。●手洗いの場合、食器用中性洗剤で洗浄し、よくすすいだ後、水気を拭き取って十分に乾かしてください。 ●洗浄の際、研磨剤入りのスポンジ、金属たわし、クレンザー等は使用しないでください。表面を傷つけ本品が破損する恐れがあります。 ●フタのつけ置き洗いはしないでください。フタの中に水が入り込む原因となります。
保温ケース	<ul style="list-style-type: none"> ●食器洗浄・乾燥機は使用しないでください。 ●煮沸したり、漂白剤でのお手入れはおやめください。 ●食器用中性洗剤で洗浄し、よくすすいだ後、水気を拭き取って十分に乾かしてください。

食器洗浄・乾燥機のご使用について

- 使用する食器洗浄・乾燥機の取扱説明書を十分にご確認の上、ご使用ください。
- 食器洗浄・乾燥機のヒーターや熱風の吹き出し口付近に置かないでください。また、上に重いものを載せたり、重ね置きしないでください。変形する恐れがあります。

抗菌効果について

- 保温ケース・パッキン・エア弁以外の部品に、菌の増殖を抑える抗菌加工を施しています。
- 表面に接触した菌に対して効果がありますが、食品の鮮度保持や防腐効果はありませんので、ご注意ください。
- 表面に汚れなどが付着していると抗菌効果は発揮されません。清潔にご使用ください。また、ご使用にならないときは乾燥させて保管してください。